

第13回科学技術部会	参考
平成15年 2月27日	資料 1

連絡先
厚生労働省大臣官房厚生科学課
担当 赤川 (3803)
広瀬 (3807)
日向 (3813)
電話 03-5253-1111 (代表)
03-3595-2171 (直通)

平成15年2月17日
(情報提供)

厚生科学審議会科学技術部会
末梢性血管疾患遺伝子治療臨床研究作業委員会の議事概要

1. 日時 平成15年2月17日(月) 14:00~16:00
場所 経済産業省別館 1012号会議室 (10階)

2. 議事概要

概要は以下のとおり。

平成14年10月28日付け「九州大学医学部附属病院の遺伝子治療臨床研究実施計画（閉塞性動脈硬化症、バージャー病）」について第1回の審議が行われた。まず、研究実施計画について施設から説明を受け、説明および提出資料を基に、研究計画の妥当性について意見交換が行われた。各委員の意見を事務局で整理し、これに対し、九州大学医学部附属病院に検討を依頼することとされた。

(遺伝子治療臨床研究実施計画の内容は別紙参照。)

(別紙) 遺伝子治療臨床研究申請 平成15年2月17日審議分

研究課題名	「血管新生因子（線維芽細胞増殖因子：FGF-2）遺伝子搭載非伝播型組換えセンダイウイルスベクターによる慢性重症虚血肢（閉塞性動脈硬化症、バージャー病）に対する血管新生遺伝子治療臨床研究」
申請年月日	平成14年10月28日
実施機関及び総括責任者	実施機関：九州大学医学部附属病院 総括責任者：九州大学医学部附属病院第2外科 前原喜彦 教授
対象疾患	閉塞性動脈硬化症、バージャー病
導入遺伝子	ヒト線維芽細胞成長因子（FGF-2）遺伝子
ベクター	非伝播型組換えセンダイウイルスベクター
実施期間および対象症例数	厚生労働大臣了承日より18ヶ月、12症例
治療研究の概要	FGF-2遺伝子搭載非伝播型組換えセンダイウイルスベクターを虚血肢内に注射針に注入することで骨格筋細胞に遺伝子導入し、FGF-2を産生させ、血管新生を誘導させる。
その他（外国での状況等）	<ul style="list-style-type: none">・ 本遺伝子治療臨床研究で採用されたセンダイウイルスベクターは、英国における嚢胞性線維症遺伝子治療臨床研究に計画されているのみで、世界で初めて遺伝子治療臨床研究に使用される。・ 同様の疾患に対し、大阪大学で肝細胞増殖因子遺伝子、米国で血管内皮細胞増殖因子遺伝子を用いた遺伝子治療臨床研究が実施中である。